

令和 8 年 2 月 2 7 日
四国電力株式会社

組織整備について

当社は、これまで当社グループが培ってきた強みを最大限に活用し、更なるグループの成長と地域の発展への貢献を目指すための指針として、昨年 9 月に策定した「よんでんグループ中期経営計画 2030」の達成に向けた取り組みの強化を進めており、このたび、その一環として、本年 3 月 1 日付で、以下のとおり組織整備を行うこととしましたので、お知らせいたします。

1. DX推進プロジェクトの組織整備について

当社では、全社的なDX^{※1}推進に向けて、2022年3月に「DX推進プロジェクト」を設置し、ビジネスモデルや業務プロセス、従業員マインド等の変革に取り組んでまいりました。

この結果、部門間でのデータ共有・分析を可能とする仕組みやAI・機械学習環境の整備など、データ活用に向けた基盤整備が着実に進展するとともに、社内認定制度における中級以上のDX人材の育成目標^{※2}を早期に達成するなど、確かな成果が得られたものと考えております。

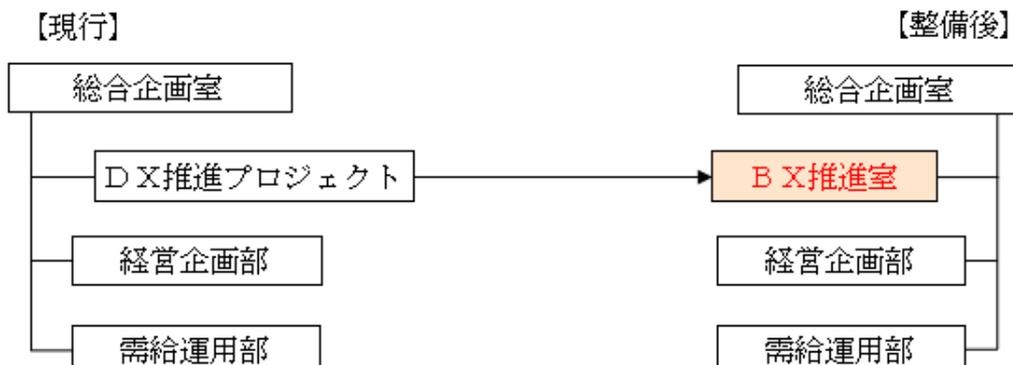
こうした中、「よんでんグループ中期経営計画 2030」達成に向け、全社横断でのビジネス変革（BX）を一層強力に推進するとともに、定型業務の自動化等により、高付加価値業務にリソースをシフトし、競争力の向上と収益拡大を図る観点から、このたび、「DX推進プロジェクト」を「BX推進室」に改組し、体制を強化することといたしました。

「BX推進室」では、全社的なBX実現に向け、データ活用基盤の機能拡充・運用高度化やDX人材の育成プログラムの拡充など、これまでの取り組みを継続・発展させつつ、データを活用した経営判断の迅速化、AI等を活用した業務の自動化・高度化、新技術や社内外の各種データを活用した新サービス・新規事業創出などの取り組みを加速してまいります。

※1：当社では、DXを単なるデジタル化ではなく、「デジタル技術とデータを活用したビジネス全般の変革である」との認識のもと、『BX (Business Transformation) by 「D」』と定義し、全社をあげて積極的に推進することとしている。

※2：2025年度末までに100名育成（2030年度は300名）

<組織整備の概要>



2. 人事労務部門の組織整備について

当社では、これまで、人事労務部が採用・配員・評価等の総合的な人材マネジメントを、総合研修所が人材育成を担ってまいりましたが、「よんでんグループ中期経営計画 2030」において、経営基盤強化策として位置付けている人材戦略の推進に向けて、これまで以上に人事機能と育成機能の連携を強化する観点から、組織整備を行うことといたしました。

具体的には、育成施策を所管する「総合研修所」を人事労務部に包含し、「キャリア開発室」に改組するとともに、採用業務を同室に移管することで、採用から入社後の教育・キャリア形成支援、エンゲージメント向上までを切れ目なく一体的に取り組むことといたします。

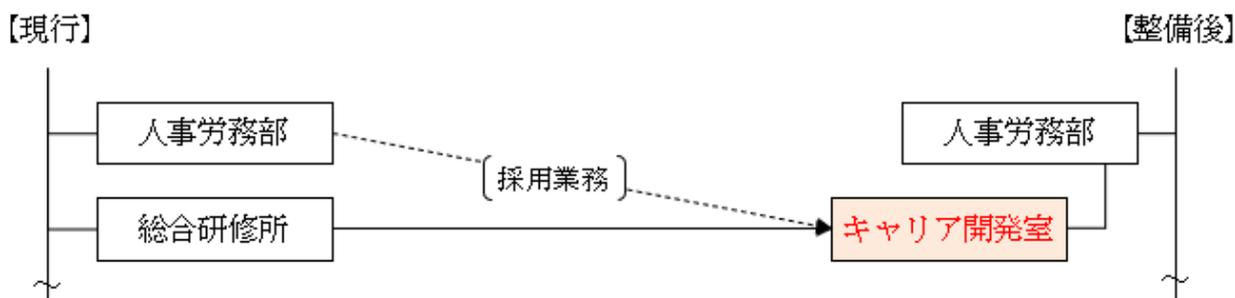
今後は、この新たな体制のもと、“会社と従業員が共に成長しながら持続的に価値を創造する”という「よんでんグループ人材戦略」の基本方針に沿って、様々な人材マネジメント施策を推進することで、「組織としての収益力・創造力・総合力の最大限の発揮」と従業員の「充実した人生の実現」を目指してまいります。

(参考) 採用から入社後の教育等を一体的に取り組むことによって期待できる効果の例

期待できる効果	具体的なアプローチ
組織への早期定着・戦力化	採用から入社後教育、配属、1年目終了時研修に至るまで継続的なフォローを行い、組織への早期定着・活躍と個々人の特性等を踏まえた能力開発を推進
キャリア形成の伴走・支援	本人のキャリアプランに応じた教育・研修を提供し、従業員が最大限能力伸長をはかれるキャリア形成を伴走・支援

従業員エンゲージメントの向上

<組織整備の概要>



以上